

平成 29 年度 グループホームやつなみ 事業計画

1 基本理念

入居される方々に対し、住み慣れた地域において社会との繋がりを保ちつつ、その人らしく暮らして頂けるような住まいと、BPSDの背景と生活に対するニーズを把握した上での適切なケアを提供し、認知症状の進行を遅らせ、たとえその症状が進行しても、「ここは私にとってパラダイス（心地良い居場所）です」という安心と、「この歳まで生きてきて良かった」という喜びと、「まだまだ長生きしたい」という希望を持っていただけるサービスを提供します。

2 基本方針

- 1 入居される方々について、共同生活住居において、開放的な介護をめざし、地域社会や入居者のご家族とも交流を図り、家庭的な雰囲気のもとで生活をしていただき、その環境の中で食事、排せつ、入浴の介護その他日常生活上の介護及び生きがい活動、機能の活用を行うことにより、入居者とその有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう自立支援的なケアを提供する。また共同生活の中では社会性と協調性の維持を図り、入居者同士や職員との関わり合いにより認知症状を和らげ、その進行を遅らせることができるよう、職員が、入居者とそのご家族に対し十分な説明を行い、同意を得て必要な介護を行う。
- 2 入居者の人権を尊重し、自尊心に配慮して、常に入居者の思いに寄り添った介護の提供に努める。
- 3 家庭的な雰囲気を有し、地域の住民またはその自発的な活動等との連携及び協力を図り地域との交流に努める。
- 4 認知症対応型共同生活介護計画を作成し、生活目標を立てて、入居者が自立した生活を送れるように支援する。
- 5 心身の健康保持と、生活の場としての安心と喜びと希望を持っていただくことを目的として、日々の生活日課や生きがい活動を季節に即して工夫し提供する。
- 6 月1回以上入居者及びそのご家族との懇談を実施し、連携を図る。
- 7 食事に対してはカロリーや栄養バランスに注意を払い、入居者の健康と身体状況、禁忌や嗜好に配慮するとともに、四季折々の食材も取り入れて、楽しく愉快的な食卓となるよう努める。

3 事業目標

年度内に稼働率 100%を目指す。 年度平均 90%以上

事業収入 68,110,280 円 （内訳：利用収入 56,110,280 円 家賃等 12,000,000 円）

4 会議計画

ケアスタッフ会議（月1回開催、必要な場合随時開催）

入居者様のサービス内容の状況把握、業務内容の点検と問題点の改善等

ケアプラン会議（月1回開催、必要な場合随時開催）

入居者様のケアプラン検討、作成及び変更等

全体会議（月1回開催）

年間計画、年間報告、研修、事故・苦情に関すること、労務・人事に関すること等
運営推進会議（概ね隔月に年6回開催）

活動状況の報告、助言・要望等ご意見の聴取、地域との連携を図る

6 外部評価（年1回受審し、結果を公表する）

5 研修計画（概ね隔月に年6回開催）

①倫理及び法令順守、接遇・マナーに関する研修

②人権、権利擁護、虐待防止、身体拘束排除、プライバシー保護に関する研修

③事故発生予防、再発防止、安全対策に関する研修

④緊急時対応、非常災害時の対応に関する研修

⑤感染症及び食中毒の発生予防、まん延防止に関する研修

⑥認知症、介護予防、疾病その他に関する研修

この他に、外部団体主催の研修に参加し、研修参加者による伝達研修を後日開催します。

6 行事計画

①年間行事

4月 お花見

5月 端午の節句

6月 菜園種まき

7月 七夕

8月 夜店、縁日

9月 防災月間

10月 体育の日

11月 秋の遠足

12月 クリスマス、年越し

1月 初詣

2月 節分、巻き寿司パーティー

3月 春の遠足

②ご家族との交流（随時）

③お誕生日会

④地域の行事に参加（保育園発表会、中学校演奏会、地区ふれあい大会、夏祭り、祭礼等）